

「朝鮮族研究学会誌」執筆要領

1. 原稿提出期限ならびに送付先

- (1) 提出期限:その巻ごとに提示します。
- (2) 送付先:その巻ごとに提示します。
- (3) 原稿は印刷原稿3部(審査・保管用)及び記録媒体をご送付下さい。

2. 原稿について

(1)分量

論文原稿は、A4版、日本語、ハングルは20,000字以内、中国語は15,000字以内、英文ダブルスペース7,000語以内(いずれも本文のみで計算)で作成して下さい。研究ノートは14,000字以内、書評、学会動向は5,000字以内とします。日本語、中国語、ハングルの論文原稿の場合は、200語以内の英文サマリーを添付して下さい。

(2)様式

A4サイズ 34字×30行(1頁1000文字と計算)

文字サイズ 10.5ポイント

余白 上35ミリ×下30ミリ、左30ミリ×右30ミリ、頁番号は下中央

図表などについては、当該頁に挿入して下さい。

3. 文末注欄について

(1)注について:

Word文書では(参考資料)のツールで頁末あるいは文末の脚注が選択できますが、文末脚注を選択して下さい。本文中では、下記の要領で、アラビア数字を右肩に記入して下さい。

……中国朝鮮族¹の人口移動に関してはすでに多くの研究蓄積がある²。……

(2)引用文献については次のように注をつけて下さい。

日本語の場合

〔書籍〕 著者名『書名』発行所名 発行年 引用頁

〔論文〕 著者名「論文名」『雑誌名』巻号 発行年 引用頁

外国語文献の場合

〔書籍〕 著者名 書名(イタリック) 発行所名、発行年、
p.~(またはpp.~)

〔論文〕 著者名、論文名(“ ”)、雑誌名(イタリック) 巻号、
発行年 p.~(またはpp.~)

日本語、英語以外の文献の場合

韓国語、中国語の文献に関しては日本語文献に準じて下さい。

それ以外の文献は、日本語、外国語のどちらかに近いほうに準じて下さい。

(3) 繰り返し参照の場合の省略記入の仕方は原則として次のように行って下さい。

日本語の場合

直後の場合 同上 引用頁

直後でない場合 著者名 前掲書(前掲論文) 引用頁

英語の場合

直後の場合 *ibid.*, p.~(または pp.~)

直後ではない場合 *Name.op.cit.*, p.~(または pp.~)

4. 図表について

(1) 図表番号について:

表および図の見出しは、表 1、表 2・・・、図 1、図 2・・・として下さい。図や表は本文にに入れて下さい。

(2) 図表のカラー表示の禁止について:

原稿はモノクロ印刷となりますので、図表類の凡例などでのカラー表示はお避け下さい。印刷時にわかりやすい表示を選んで下さい。また、グラフの背景も「白」として下さい。

(3) 出所欄は、引用文献の書誌事項の内容を記入してください。また、インターネットからの参照、引用の場合は、検索サイトのアドレスと最終閲覧日を記入して下さい。

5. 章、節、項の立て方

1.

(1)

1)

2.

全角数字で表記として下さい。適宜「はじめに」や「おわりに」「まとめ」などを前後につけてもかまいません。

6. その他の注意

(1) 使用フォントについて

本文は、MS明朝、10.5 ポイントを使用します。

見出し、小見出し、図表タイトルは、MSゴシック、10.5 ポイントです。

- (2) 英数字の表記について
2桁以上の数字(小数を含む)、英文部分は半角(略称は除く、例:IT、OECDなど)をお願いします。
- (3) 記号類の表記について
、。」「『』()〔 〕< > □ %などの記号類は全角にして下さい。
英文中の()は半角です。
日本語文中の句読点は「、」「。」を用いて下さい。
- (4) カタカナの表記について
カタカナは全角で表記して下さい。半角文字は使用しないで下さい。

7. その他

- (1) 投稿文の言語が日本語、中国語、ハンゲルの場合は、英文タイトル、ローマ字表記の氏名、200語以内の英文サマリー、使用言語のキーワード5つ以内を付記して下さい。
なお英文サマリーについては事前にネイティブ・チェックを済ませて下さい。
- (2) 使用言語が日本語以外の場合は、日本語の書式に準じて下さい。

以上

インターネット参照は最終閲覧日を明示する